



- 調査実施日 2013年12月23日
 - 調査場所 ウカヤリ州郡コロネル・ポルティージョ郡サンホセ村の一般家庭
 - 調査対象 ニコラス(仮名)さん一家
- 現地通貨ヌエボソル(通称ソル 1米ドル=2.8ソル・2013年12月現在)

ニコラスさん一家



| | |
|------|---|
| 家族 | 夫 ニコラスさん(49歳) 妻 (40歳) 三女 (4歳) 四女 (2歳) 妻の継子である長女、次女は結婚、長男は前夫との同居を選択。 |
| 世帯収入 | 月額 1,900 ソル |
| 職業 | 公立小学校教諭(夫)、伝統工芸(妻) |
| 休日 | 日曜(夫)、不定期(妻) |
| 出身地 | ウカヤリ州コロネル・ポルティージョ郡 |

ニコラスさん (49歳)

職業 公立小学校教諭
月収 1,200 ソル

よく使う交通手段は？
三輪バイク、ボート

休暇の過ごし方は？
家の修繕など、普段できない家の仕事に時間を費やす。

趣味は？
サッカー。



買い物スポットは？

日常的な食品や雑貨類の買い物は妻に任せている。大きな電化製品などの買い物は近郊のプカルパ市の伝統市場で。

今欲しいものは？
自動車。

妻は前夫と早くに離婚し、一男二女を女手ひとつで育ててきたが、それぞれ独立したのを期に5年前に再婚に踏み切り、現在の家に転居した。夫のフェルミンさんにも前妻との間に子供が数人いるという。

先住民集落で生まれ育った妻だが、現代的な生活への憧れが強く、現在の家も比較的モダンなつくりで家電製品を取り入れた生活を満喫している。近所の下水道インフラに不備があり、水洗トイレの設備がありながら使用できないのが悩みである。

妻 (40歳)

職業 主婦、伝統工芸
月収 700 ソル

よく使う交通手段は？
三輪バイク、ボート

休暇の過ごし方は？
日々の家事に加え、内職の伝統工芸制作も注文が増えているため、なかなか休みがとれない。

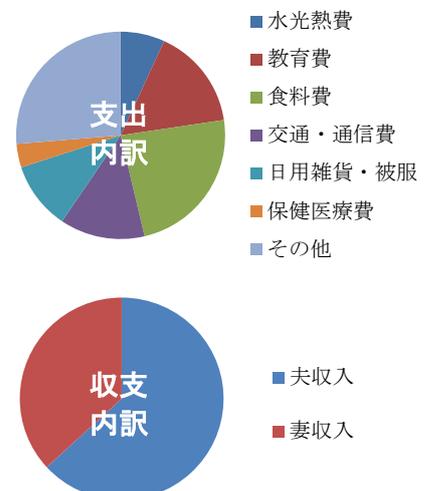
趣味は？
家事が忙しく余裕ない。



買い物スポットは？

食品や日曜雑貨などは、近郊のヤリナコチャ町の伝統市場で購入することが多い。プカルパ市に最近オープンした大型スーパーマーケットに行ったことはない。

今欲しいものは？
自宅を整えたい。



住居 伝統捨て現代的な都市生活を志向



ニコラスさんの自宅はプカルパ市の近郊サンホセ村の一角に建つ2階建て住宅。再婚を期に5年前、現在の住宅を購入したものの、元の大家と所有権契約の解釈をめぐり係争状態にあるという。

二階建てという家屋の様式をはじめ、台所の設備やテレビ、ステレオ、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品を使いこなしていることにとりわけ顕著だが、室内にも現代的な都市生活の要素が満ち溢れている。

一方で、近所の下水管幹線が破損したまま長年にわたり放置されているため、せっかくの水洗式トイレを使えず、裏庭に設置した素掘式トイレの使用を余儀なくされてい

| | |
|---------|--|
| 所有の有無 | 所有地 |
| 間取り | 2階建て、寝室、ガレージ、書斎、食堂、台所 |
| 広さ | 敷地面積 200 m ² 、総床面積 120 m ² |
| 居住年数 | 5年 |
| 電気 | 70 ソル/月。 |
| 上水道 | 25 ソル/月。 |
| 下水道 | 幹線の破損で事実上使えない |
| ガス | ポンベ交換式。32 ソル/月 |
| 電話 | 携帯電話 3 ソル/月 基本的に受信のみ。 |
| インターネット | インフラ未整備 |
| ケーブルTV | インフラ未整備 |

| | |
|-------|----------------|
| テレビ | ソニーの中古(420 ソル) |
| 冷蔵庫 | 国産の中古 |
| 洗濯機 | 国産の中古(480 ソル) |
| ガスコンロ | 新品を利用 |
| ミキサー | なし |
| ステレオ | 新品コンボ(故障中) |
| DVD | なし |
| 電子レンジ | なし |
| アイロン | 国産の新品を購入 |
| PC | 夫が保有 |
| 自動車 | 夫は自動車免許所持 |



寝室には蚊帳が吊ってある。蚊を媒介とするデング熱などの罹病を防ぐため必需品。



2階寝室に置かれたソニーの中古TV。家族の娯楽である、



中古で購入した2槽式の洗濯機。主婦の強い味方だ。



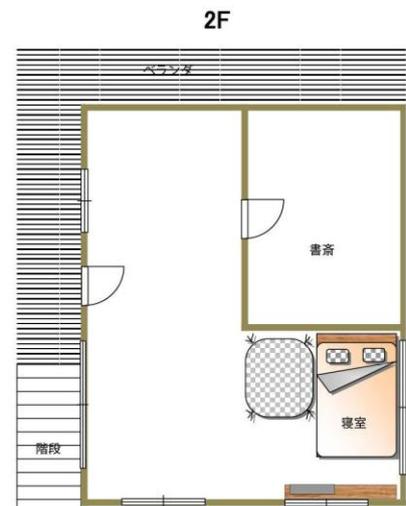
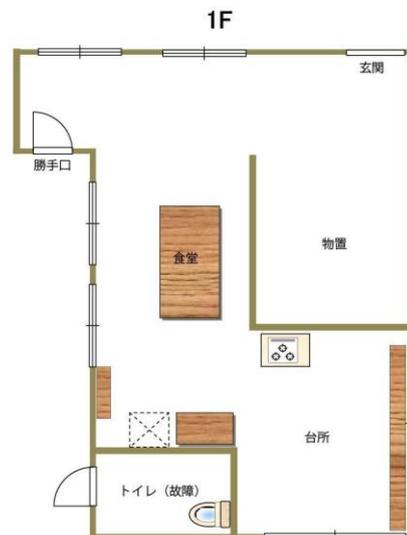
裏庭から家を俯瞰する。広々とした間取りには余裕がある。



台所から食堂を望む。ポータブルステレオがある。幼稚園正の長女が勉強していた、



台所の俯瞰。流し場こそないものの、ガスコンロ、冷蔵庫を完備。調理器具も充実。



設備は首都圏の一般家庭とほぼ同じ

アマゾン先住民の家系を引くニコラスさんの毎日の食事は、小学校の教諭という定時の職につく夫の生活にあわせパターンが決まっているのが大きな特徴だ。

夫は6時40分始業の小学校の授業に間に合うよう朝5時に出勤する。したがって、家族は朝4時30分ごろに起床。朝食はチャポ(料理用バナナのシェイク)、揚げバナナやゆで卵など簡単に済ませる。

長女が幼稚園から帰ってくると昼食である。献立は焼き魚と焼きバナナかマサモラ・デ・ペスカド(マッシュドバナナと魚のフレークを混ぜたもの)に炊いたご飯や小豆の煮豆をあわせる。食後には、カムカムというペルー・アマゾン原産のビタミンC含有の高い果実の果汁で作った手製の清涼飲料を飲む。

夫は午後3時に帰宅するので、夕食は午後5時から6時ごろに家族全員で軽目にとる。献立は昼食の残りもので済ませる。上記の料理のほか、得意料理には、内臓をとった川魚をバナナの葉に包んで炭火で蒸し焼きにするパタラシカがある。

食材や調味料の買い物はもっぱら近郊のヤリナコチャの伝統市場である。冷蔵庫はあるが、習慣から一度に食べる分だけ買い、食材は使いきるようにしている。保存のきくジャガイモやバナナは買い置きもしている。鶏卵用に鶏もつがいと飼育している。ちなみに食用の鶏肉は市場で調達する。

飲料水は上水道の水を十分に煮沸したうえでポリバケツに保存する。前出のカムカム果汁入り清涼飲料を作るのにも、この水が欠かせない。

平日と休日の境目のない暮らしのなかで外食などは論外である。



上: 中古の国産メーカーの冷蔵庫。牛乳、マッシュバナナ、生魚などを保存。右: 新品で購入した国産メーカーの一体型ガスコンロ・オーブン。バナナ水煮、煮込み料理、炊飯、飲料水の煮沸に使う。



左上: 台所から流し場を望む。台所から玄関を抜けて庭を回り込んだ場所にある。右上: 台所内に設置された蛇口から出る水道水を一度煮沸し、ポリバケツに貯めておく。



左上: 裏庭には鶏卵採取用に鶏を飼育している。残飯などを与えるため経済的負担は少ない。右上: まだ青いバナナは軒先に房ごと吊るし、食べごろになるのを待つ。



料理用バナナとは

バナナはコメとならぶペルー・アマゾン地域の主食である。料理用バナナには様々な調理法がある。

左上: 焼きバナナ: 伝統的には木炭やまき焼くと甘味が出て美味しくなる。肉料理、魚料理の添え物にかかせない。

下左: バナナ水煮。手のかからない水煮は、日々の食卓に欠かせない一品。このまま料理の添え物とするほか、マッシュして水で溶き暖めて朝食にする。また、このマッシュをソフトボール大に丸めて、油で揚げたものをフアネスと呼び、6月のサンファン祭には欠かせないご馳走となる。



左上: 食堂に面した食器棚の脇の目立つ場所に冷蔵庫が置かれている。熱帯・亜熱帯気候のペルー・アマゾンでは冷蔵庫は現代的生活のステータスだ。右上: ジャガイモやバナナなど保存のきく野菜類は常温で保存。調味料として醤油(国産の味の素製)が置いてある。手軽に作れる炒飯や醤油焼きそばは地域や人種に関係なく国民食となっている。

タイムテーブル 平日

| | ニコラスさん | 妻 | 三女 |
|-------|-------------|--------------|---------|
| 4:00 | 起床、朝食 | 起床、朝食の支度 | |
| 5:00 | 小学校に出勤 | | |
| 6:00 | | | 起床 |
| 7:00 | 授業開始 | 朝食 | 朝食 |
| 8:00 | | 長女を幼稚園に連れて行く | 幼稚園に行く |
| 9:00 | | 伝統工芸の制作 | |
| 10:00 | | | |
| 11:00 | | | |
| 12:00 | | 昼食の支度 | |
| 13:00 | 昼食（学校近くで外食） | 昼食 | 幼稚園から帰宅 |
| 14:00 | | 家事（掃除、洗濯） | |
| 15:00 | 帰宅 | 伝統工芸品の制作 | |
| 16:00 | 休憩 | | |
| 17:00 | 子供と遊ぶ | | |
| 18:00 | 夕食 | 夕食 | 夕食 |
| 19:00 | テレビを見る | テレビを見る | テレビを見る |
| 20:00 | | | 就寝 |
| 21:00 | 就寝 | 就寝 | |

休業日（日曜日）

| | ニコラスさん | 妻 | 三女 |
|-------|--------|-----------|----|
| 6:00 | 起床 | 起床 | 起床 |
| 7:00 | 朝食 | 朝食 | 朝食 |
| 8:00 | | | |
| 9:00 | 家の修繕など | 伝統工芸の制作 | 遊ぶ |
| 10:00 | | | |
| 11:00 | | | |
| 12:00 | | 昼食の支度 | |
| 13:00 | 昼食 | 昼食 | 昼食 |
| 14:00 | | 家事（掃除、洗濯） | |
| 15:00 | 家の修繕など | 伝統工芸品の制作 | 遊ぶ |
| 16:00 | | | |
| 17:00 | | | |
| 18:00 | | 夕食 | |
| 19:00 | 夕食 | テレビを見る | 夕食 |
| 20:00 | | | |
| 21:00 | 就寝 | 就寝 | 就寝 |

取材ノート:

教育者である夫のニコラスさんは州都プカルパ市から遠く離れたポパヤンという先住民シピボ族の集落の出身。近年、学業を続けるため、または仕事を求めて都会を目指す先住民出身の若者に固有言語のシピボ語をはじめ文化的アイデンティティの喪失が進行していることを憂慮し、先住民固有の文化を次世代に継承するための教育プロジェクトに自ら参加し、本来は休みの土曜日にもプロジェクト関係者のワークショップに参加する熱心の姿に心打たれた。長女にも、このプロジェクトの成果物である幼児向けテキストで学習している。妻は若いころに首都リマで家政婦をしていた時期が長かったことから、都会の生活に慣れ親しんでいる。生活のなかに冷蔵庫、洗濯機、アイロン、テレビ、ステレオなどの家電製品を取り入れ、これらを上手に使いこなしながら生活を充実させようとしている。この夫婦の姿から来るべきペルーの将来像が垣間見えるような気がした。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。